



学校教育目標 広い視野と豊かな心を持った、健康でたくましい生徒の育成

東中だより

圓 困 目 標

- ・健康でたくましい生徒
- ・人の心の痛みが分かり、思いやりのある生徒
- ・進んで学び、感動できる生徒
- ・規律を守り、責任を果たす生徒
- ・厳しさに耐え、自ら努力する生徒

6月の行事 アラカルト です

あっという間に春が過ぎ去り、もう梅雨の季節となって7月の足音が聞こえ始めています。本校では、これまでもいろいろな行事が実施されました。

選手権大会・支部総体

部活動の大会として、ソフトテニス（男子、女子）とバレーボール（女子）の選手権大会が、5月27日（土）、5月28日（日）に行われました。



ソフトテニスでは、これまで練習して身に付けてきた技術や精神力を発揮し、戦いに臨んでいました。



バレーボールでは、新型コロナウイルスによる活動制限がほぼなくなったことにより、コロナ前の応援方法も解禁となりました。そこで、保護者の皆さんもチームとしての応援を組織し、声援を送っていただきました。家族・親戚の励ましを得て、精一杯戦い、県3位という戦績を収めることができました。



選手権に続き、6月14日（水）に都留支部総体が行われました（野球のみ6月17日に延期）。それに

先立ち、本校では、選手たちを応援する「壮行会」が行われました。生徒会役員や応援団が中心となり全校一丸となって試合への決意を固める時間となりました。



そして壮行会当日に向けての事前練習も行われました。その日は、6月2日（金）の台風接近と



前線による大雨となった日でしたが、下校時刻を切り上げて午前中授業とした中でも午後には予定されていた練習時間を急遽変更し、4校時に何とか応援練習を全校で行うことができました。いつもながら思いますが、生徒たちのがんばりには大いに感心させられます。

サッカー部は、6月3日（土）と同7日（水）にそれぞれ選手権と総体が行われました。本校のサッカー部は、下吉田中学校との合同チームとなっており、試合も、富士吉田支部が主催する大会に出場しています。



延期された野球の総体については、6月17日（土）に楽山球場で行われました。暑い中でしたが、合同チームとして精一杯戦う姿がとても印象的でした。



教育委員会 学校訪問



5月22日(月)、都留市教育委員会教育研修センターの3名の先生方が本校を訪れました。生徒に関わることをはじめ、日頃から学校教育を推進するにあたり、

相談やご指導をいただくなど、大切な連携機関となっております。当日は、授業の様子を観察していただき、管理職とも懇談をする中で、これまでとこれからの東桂中学校の学校教育について情報交換や意見交換を行いました。生徒の様子について、「心が洗われるような清々しい落ち着いた生徒の様子である」とのお話をいただきました。



また、5月25日(木)には、山梨県教育委員会富士・東部教育事務所より、2名の指導主事が来校し、授業参観と管理職との懇談を行いました。生徒の様子について、

上記と同様に、雰囲気良く落ち着いて穏やかに授業に参加している様子であることを評価していただきました。また、教職員の授業についてもよい感想やアドバイスをいただき、今後のよりよい学校教育に生かしていける学校訪問となりました。

学年総会

6月7日(水)に、1学年で学年総会が行われました。校外学習での成果と課題をその後の学校生活に反映させ、学年リーダーである学年委員会の生徒たちが朝早く登校して準備を進めてきた内容を基に「自分たちはどのような学年を目指したいのか」を話し合いました。そして、最終的に決議されたのは、次のような学年目標と生活目標、学習目標でした。

★学年目標

「無限の可能性 ～メリハリをつける・常識を守る・参加ではなく協力～」

○生活目標 ～“当たり前”を大切に～
積極性のある学校生活を送ろう!

○学習目標 「協力して授業を創ろう」

一般的に、目標というものには、これまでの成果と克服していくべき課題の双方が含まれていると思います。小学校から中学校へ入学し、生活にも慣れてきた現在において、生徒たちが自ら設定した今回の目標には、どのような「よさ」を自分たちで認め、どのような事柄を克服していくべき「課題」として捉えているかが表現されていると思います。変化が激しく、日本ばかりでなく世界の各地域で克服困難な問題が噴出する時代を迎えています。自分たちの暮らす社会(学年集団)をどのようにしていく必要があるのかを自分の頭で主体的に考え、周囲と力を合わせて目標に向かっていく(協働する)ことは、



これからの生徒たちが生きる時代には益々要請される「生きる力」となります。身近な毎日の生活が、自分の将来と社会の在り方につながっていくことを日々の学びを通してしっかり理解し、学校教育目標にあるように、「広い視野と豊かな心を持った健康でたくましい生徒」となっていけるよう努力していった欲しいと思います。

SATの方々との放課後学習

都留文科大学の学生の皆さんによる学習支援事業が都留市の教育政策として行われています。本校では授業中及び放課後の支援をお願いしていますが、写真は放課後学習の様子です。自ら積極的に会場の図書室を訪れ、学習に取り組む生徒たちの姿が見られました。

努力は必ず成果となって現れると思います。これからも着実に地道な努力を継続していった欲しいと思います。

